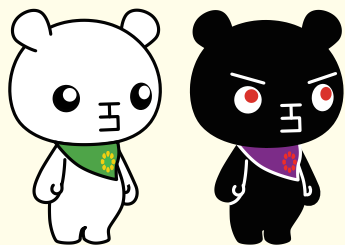


PCB 処理だより

第40回北九州市PCB処理監視会議を開催

平成30年7月25日、若松市民会館において「第40回北九州市PCB処理監視会議」を開催しました。
午前中は、北九州PCB処理事業所内の立ち入りを行い、設備の稼動状況やトラブル箇所の対応状況を確認しました。
午後からは会議を行い、監視会議委員のほか、JESCO、国、北九州市の担当者が出席し、

- 北九州PCB廃棄物処理施設の操業状況等
 - 今後の安全かつ早期の処理完了に向けた取組
 - 北九州PCB処理事業所施設解体撤去の進め方(案)
- について議論が行われました。



監視会議委員による北九州PCB処理事業所内の立ち入りの様子



監視会議の様子

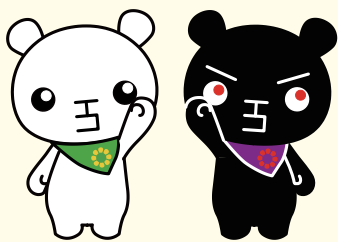
北九州PCB廃棄物処理施設の操業状況等

PCB廃棄物処理の進捗状況(平成16年度～平成30年6月末)

今年度末には、北九州事業エリアにおける「変圧器・コンデンサー」の計画的処理完了期限を迎えますが、順調に処理が進んでおり、現時点では期限内に処理が完了する見通しです。

本年6月末時点の未処理台数は、変圧器が7台、コンデンサーが1,222台となっており、施設の処理能力から十分に対応可能であり、現在、搬入時期を調整のうえ、順次処理を実施しています。

また、JESCOへの処理委託未契約件数は、着実に減少し本年6月末時点で23件となっています。そのうち、行政による改善命令又は代執行の対象となる可能性が高い事案が14件ありますが、全ての事案において各自治体の対応が順次進んでいる状況です。



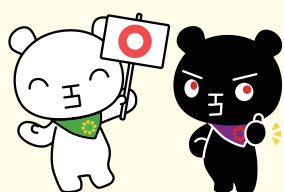
		北九州 事業エリア	東京 事業エリア	豊田事業エリア (変圧器・車載)	大阪 事業エリア
変圧器類	処理台数①	2,693台	—	98台	—
	登録台数	2,700台	—	98台	—
	処理対象台数②	2,700台	—	98台	—
	処理率①/②	99.7%	—	100%	—
コンデンサー類	処理台数①	50,717台	6,598台	—	—
	登録台数	51,573台	6,932台	—	—
	処理対象台数②	51,605台	6,932台	—	—
	処理率①/②	98.3%	95.2%	—	—
安定器及び汚染物等	処理重量①	3,027t	—	813t	733t
	登録重量	3,161t	—	2,264t	2,550t
	処理対象重量②	3,174t	—	約4,000t(但し缶重量を除く)	
	処理率①/②	95.4%	—	38.7%	

(注)北九州事業エリアにおける処理対象台数②および処理対象重量②については、平成30年6月末現在のJESCO登録状況、経済産業省による電気事業法届出状況及び環境省によるPCB特措法届出状況を用いて推計した数値。

環境モニタリングの結果

平成29年度「冬季」、平成30年度「春季」に実施した環境モニタリング測定の結果は、全ての項目において環境基準等に適合していました。

JESCO及び北九州市は、PCB廃棄物処理事業による環境への影響を把握するため、周辺環境及び排出源において定期的に環境モニタリングを実施しています。



排出ガスモニタリング



水質(周辺海域)モニタリング

今後の安全かつ早期の処理完了に向けた取組み

JESCO

トラブルの未然防止対策を継続して推進しているほか、安定器の更なる処理促進策に取り組んでいます！

- 長期保全計画に基づき、施設の設備の更新・補修を確実に実施しているほか、リスクの高い作業等に関する対策の検討や、安全意識の向上に関する取組みを引き続き進めるとともに、トラブル事例・再発防止策の水平展開を実施しています。
- 保管場所での安定器の更なる仕分け促進と小型電気機器(3kg未満)の真空加熱分離装置での処理を実施しています。



国

処分委託の見込みのない事業者を抱える自治体に対して、行政処分の執行に向けた指導及び支援を行っています！

- 各自治体に対して、必要に応じて法に基づく報告徴収または立入検査の権限を活用するなど、行政処分の執行に向けて指導及び支援を行っています。
- 行政処分に関する法令面の整理や対応に係る基本的な考え方を示すとともに、自治体が代執行を実施する場合の財政的支援の枠組みを構築しています。



本市

JESCOへの毎月ペースでの立入検査等による監視指導と、関係自治体への早期処理の要請を継続して行っています！

- JESCOに対して、報告徴収や抜き打ちによる立入検査の実施(去年は24回)を行うとともに、運転会社との会議等への参加(去年は36回)を通して、適切な操業管理を徹底しています。
- 北九州事業エリアの全自治体に対して、文書の発出や個別の訪問を行うことで、期限内処理の達成に向けた対応について要請をしています。



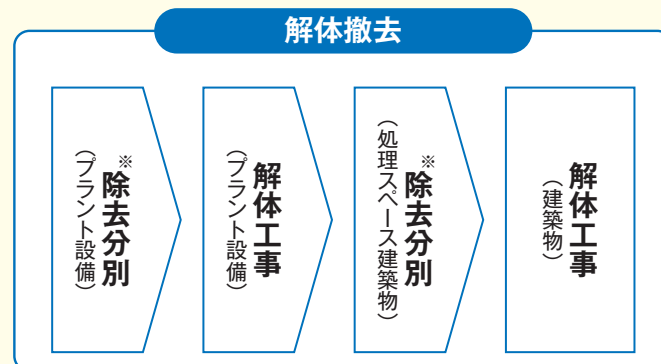
北九州PCB処理事業所施設解体撤去の進め方(案)

JESCOから「北九州PCB処理事業所施設解体撤去の進め方(案)」について説明がありました。

- PCB廃棄物の無害化処理、周辺環境への配慮、作業者の安全衛生管理など、安全第一を基本方針として解体撤去を進めていきます。
- 設備等に付着しているPCBの除去分別を経て、プラント、建築物の順に解体工事を計画しています。
- これから、解体撤去の具体的な方法やスケジュールの検討を進めていくこととしており、検討の状況は地域住民の皆様にも情報を発信してまいります。



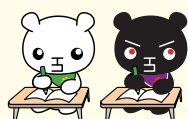
北九州PCB処理事業所全景



※除去分別 設備等に付着しているPCBを取り除いたり、PCB廃棄物とPCB廃棄物でない廃棄物に分ける作業です。

トピックス

トピックス1



第6回西日本広域協議会が開催されました！

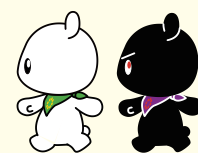
平成30年8月1日、西日本総合展示場会議室において「第6回西日本広域協議会」が開催されました。関係自治体における早期処理に向けた取組内容や進捗状況を共有し、本市からは期限内の確実な処理完了に向けた取組みの徹底を要請しました。



会議風景

トピックス2

高校生を対象に北九州市PCB処理事業所見学ツアーを実施しました！



平成30年8月3日、環境・科学学習の一環として、福岡県立東筑高校の生徒を対象に北九州市PCB処理事業所見学ツアーを実施しました。生徒達は実際の処理工程について施設内を見学した後にグループ別に分かれ、ディスカッションを行い「自分の意見を持つことができ科学技術の関心を高めることができた」「環境問題の新たな考えを学ぶことができた」などの声が挙がり、学校の授業では学ぶことのできない貴重な経験をすることができたとの感想をいただきました。



見学風景



生徒ディスカッション風景

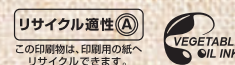
発行元

PCB News vol.40

環境局環境監視部環境監視課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号 TEL: 093-582-2175 FAX: 093-582-2196
メールアドレス: kan-kanshi@city.kitakyushu.lg.jp

※ PCB処理の進捗など、地域の集会等に市の職員が出向いて、説明を行います。
ご希望の方やPCB処理だよりについて感想やご意見がございましたら、上記までご連絡ください。
※ この事業について、詳しくは専用ホームページ(<http://www.waste-info.jp/pcb/>)で!!



本紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。平成30年9月 No.1812034F